

2024年(令和6年)3月6日(水曜日)

アイテックインターナショナル
後藤俊夫社長に聞く

電波新聞

事業動向
と戦略アイテック
インターナショナル
ジャパン

アイテックインター 月1日付で発足し、4年弱が経過した。後藤社長は、最近の事業動向や今後の事業戦略を聞いた。

—— 最近の事業動向

後藤社長 23年は厳しい一年だった。23年

ナショナルジャパン(東京都新宿区)は、高島グループの電子デバイス・電子機器事業を統括するアイテックインターナショナル(香港、後藤俊夫社長)の日本における事業会社。2020年4月1日付で発足し、4年弱が経過した。後藤社長は、最近の事業動向や今後の事業戦略を聞いた。

—— 最近の事業動向

後藤社長 23年は厳しい一年だった。23年

が長期化している。それでも、24年中ごろには在庫の適正化が進み、その後はV字回復すると考えている。

—— 今後の経営戦略

後藤社長 国内の車載市場、医療関連市場など、現在は売り上げ

ことにより調整局面が

業績のV字回復を見込む

実装ビジネスでの差別化推進

が高いため、ドル高の影響も受けた。ただ、通期の最終利益は計画値を達成できる見通しだ。

—— 24年の展望は。

後藤社長 23年はサプライチェーンでの在庫が積み上がっていたが、予想以上に調整

が高いため、ドル高の影響も受けた。ただ、通期の最終利益は計画値を達成できる見通しだ。

—— 需要の回復時期

後藤社長 23年はサ

は電子業界全般が低調に推移し、当社も23年度(12月期)業績は減収減益となる見通し。

—— 中期経営計画の取り組みは。

後藤社長 23年度から新中期経営計画(3年建

ことにより調整局面が

ことにより調整局面が

ことにより調整局面が

が長期化している。それでも、24年中ごろには在庫の適正化が進み、その後はV字回復すると考えている。

—— 今後の経営戦略

後藤社長 国内の車載市場、医療関連市場など、現在は売り上げ

ことにより調整局面が

ことにより調整局面が

ことにより調整局面が

が長期化している。それでも、24年中ごろには在庫の適正化が進み、その後はV字回復すると考えている。

—— 今後の経営戦略

後藤社長 国内の車載市場、医療関連市場など、現在は売り上げ

ことにより調整局面が

ことにより調整局面が

ことにより調整局面が

ことにより調整局面が

ことにより調整局面が

ことにより調整局面が